

よろこびがつなぐ世界へ



KIRIN SOCIAL BOND FRAMEWORK



キリンホールディングス株式会社

キリン・ソーシャルボンド・フレームワーク

2023年9月

1. はじめに

キリンホールディングス株式会社（以下、「当社」）は、これまで、「グリーンボンドフレームワーク」及び「キリン・サステナブルファイナンス・フレームワーク」を策定し、多様なサステナブルファイナンスを実行することで、キリングループのCSV 経営の更なる推進と社会課題の解決を目指してまいりました。そのような中、CSV パーパスにおける重点課題のひとつである「健康」に合致し、また、当社のヘルスサイエンス事業を強く補完する、Blackmores Limited（以下、Blackmores）を買収するに至り、本株式取得に充当する資金調達として、ソーシャルファイナンスを検討しております。

今般のソーシャルファイナンスは、当社の成長戦略及び重点領域に対するコミットメントをステークホルダーの皆様にご理解頂くための機会と捉え、本株式取得を適格プロジェクトとする、独立したソーシャルボンド・フレームワーク（以下、「本フレームワーク」）を策定することといたしました。本フレームワークは、国際資本市場協会（ICMA）の定めるソーシャルボンド原則(SBP)2023、金融庁の定めるソーシャルボンドガイドライン（SBGLs）2021年版に基づき策定しており、これらの原則等との適合性に対するセカンド・パーティ・オピニオンを DNV ビジネス・アシュアランス・ジャパン株式会社より取得しております。

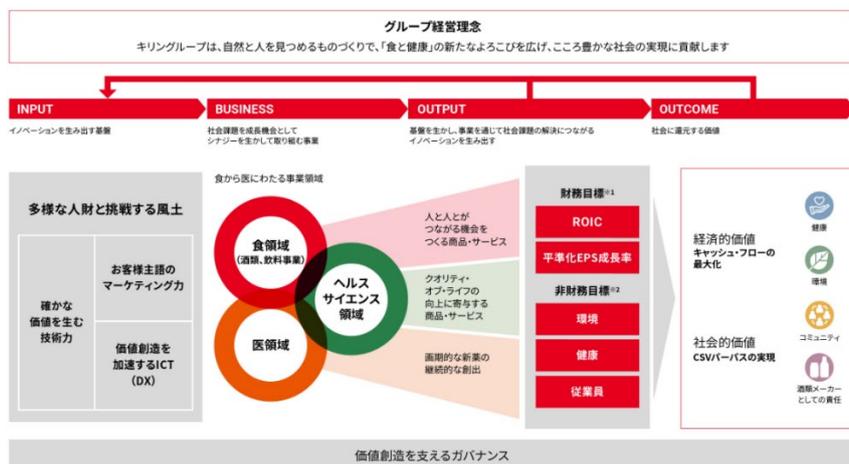
1.1 会社概要

当社は、キリンビール株式会社、キリンビバレッジ株式会社、Lion Pty Ltd、協和キリン株式会社、メルシャン株式会社、Coca-Cola Beverages Northeast, Inc.、協和発酵バイオ株式会社等によって構成されるキリングループの持株会社です。東京に本社を置き、日本及びアジア、オセアニア地域を中心に、祖業より培った発酵・バイオテクノロジーを生かし「食領域」（酒類・飲料事業）と「医領域」（医薬事業）に加え、2つの中間領域である「ヘルスサイエンス領域」（ヘルスサイエンス事業）を展開しています。

2 キリングループのサステナビリティ経営

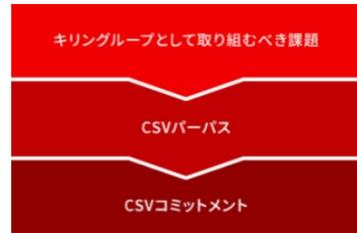
2.1 グループ経営理念

キリングループは、自然と人を見つめるものづくりで、「食と健康」の新たなよこびを広げ、こころ豊かな社会の実現に貢献します。



2.2 キリングループの CSV 経営

キリングループは、ステークホルダーの皆様と共に社会的価値と経済的価値を創出し、社会と共に持続的な成長を続けていきます。そのために、解決すべき社会課題を「キリングループとして取り組むべき課題」として特定し、その中でも特に取り組むべき「酒類メーカーとしての責任」「健康」「コミュニティ」「環境」の4つを「CSV 重点課題」に選定しております。そして、重点課題別に今日の社会において期待される役割・存在意義としての指針をまとめたものとして「CSV パーパス」を策定し、その指針の実現に向けたアクションプランを「CSV コミットメント」として定め、グループ全体で取り組んでいます。



2.2.1 キリングループとして取り組むべき課題

社会とともに持続的に存続・発展していく上での重要テーマを「持続的成長のための経営諸課題（グループ・マテリアリティ・マトリックス GMM）」（下図ご参考）に整理しています。グループを取り巻く社会課題を踏まえ、「酒類メーカーとしての責任」を果たすことを前提に、「健康」「コミュニティ」「環境」の4つを「CSV 重点課題」に選定しています。

「持続的成長のための経営諸課題（グループ・マテリアリティ・マトリックス GMM）」



2.2.2 CSV パーパス

キリングroupは、長期経営構想キリングroupビジョン 2027 の指針として、特に取り組むべき4つの重点課題ごとにCSV パーパスを策定しています。CSV パーパスは長期経営目標を達成するための指針です。CSV 重点課題の解決に事業を通じて取り組むことで、こころ豊かな社会を実現し、お客様の幸せな未来に貢献します。



2.2.3 CSV コミットメント

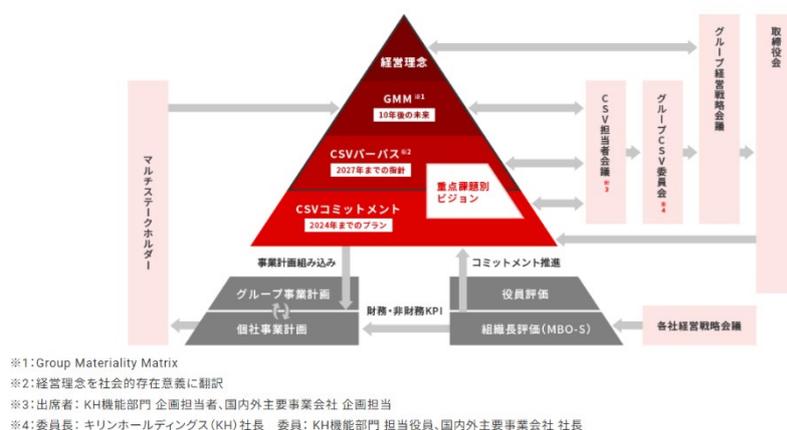
「CSV パーパス」の実現に向けて、各事業が取り組む中長期アクションプランとして、CSV コミットメントを設定しています。CSV コミットメントへの取り組みを通じて、グループ全体で社会的価値を創出するとともに、競争力強化と事業の成長という経済的価値につなげて CSV 経営を深化させていきます。

※ 下表は、CSV コミットメントの一部を抜粋したものです

| 重点課題 | 経営諸課題 | 成果指標 | 会社/部門 | 目標値 (2024年) |
|--------------|---------------|--|------------------------|-------------|
| 酒類メーカーとしての責任 | アルコール関連問題への対応 | 適正飲酒啓発プログラムへの参加数、飲酒マナー・スロードリンク動画などのホームページ啓発コンテンツの訪問数 | キリンビール | 75万人 |
| | | | メルシャン | 7,200人 |
| | | | ライオン | 10万人 |
| | | | キリンホールディングス CSV戦略部 | 13.5万人 |
| 健康 | 免疫機能の維持支援 | プラスマ乳酸菌の機能認知率 | キリンホールディングスヘルスサイエンス事業部 | 45% |
| コミュニティ | 人権の尊重 | 人権リスクが高い農産物のサプライチェーンに対する継続的な人権デューデリジェンスの実施(開始)件数 | キリンホールディングス調達部 | 3件 |
| 環境 | 気候変動の克服 | GHG排出削減率:Scope1+2 ※ GHG (Green House Gas) | キリンビール | 30% (19年比) |
| | | | キリンビバレッジ | 17% (19年比) |
| | | | メルシャン | 25% (19年比) |
| | | | ライオン | 35% (19年比) |
| | | | 協和発酵バイオ | 32% (19年比) |
| 協和キリン | 51% (19年比) | | | |

2.3 キリングループの CSV ガバナンス

キリングループでは、CSV を積極的・自主的に推進していくため、当社社長を委員長とする「グループ CSV 委員会」を設置し、CSV 方針・戦略、取り組み計画策定、ESG リスクに関する討議や、計画実行状況のモニタリングを行い、必要に応じて取締役会へ付議・報告を行っています。決定した CSV 方針・戦略の実効性を高めるため、当社の各部門及び主要事業会社企画部門の実務担当者で構成される「CSV 担当者会議」を設置し、情報共有と意見交換を行っています。



2.4 キリン・ソーシャルボンド・フレームワーク策定の目的及び背景

2.4.1 今次買収の意義

キリングループは、長期経営構造「キリングループ・ビジョン 2027 (KV2027)」において、「食から医にわたる領域で価値を創造し、世界の CSV 先進企業となる」ことを目指しています。

とりわけ「健康」においては、1907年の創業以来、ビール事業で培った発酵・バイオテクノロジーを発展させ、微生物や植物の研究を長年進めた結果、健康課題の解決に貢献できる多くの素材を発見・開発することに成功しており、「健康な人を増やし、疾病に至る人を減らし、治療に関わる人に貢献する」ことを目指しております。安全・安心はもちろん、美味しさを楽しみながらセルフケアできる飲料・食品の開発や、グループに医薬・バイオケミカル事業を擁する強みを活かした新たな商品やサービス、新薬の創出を通して、クオリティ・オブ・ライフの向上や未病領域での新価値創造による社会課題の解決など、当社の将来における成長機会をけん引できると考えています。

また、より多くのお客様に、エビデンスのある価値の高い素材を届け、健康課題の解決に貢献するとともに、事業の成長を実現するため、2019年に「食領域」と「医領域」に並ぶ「ヘルスサイエンス事業」を立ち上げました。2022年-2024年を対象とした今次中計では、「将来の大きな柱となるヘルスサイエンス領域での規模の拡大」を掲げ、グループ経営資源を投入して営業CFを成長させることを計画、また2027年目標としてヘルスサイエンス領域の売上収益2,000億円、事業利益率15%の達成を掲げる中、次世代の成長の柱として育成するために国内外で幅広くM&A投資の機会を検討していく

方針を公表しております。そのような中当社は、全世界の人々のより多くの健康課題の解決を通じて更なる経済的価値・社会的価値の創出することを目的とし、アジア・パシフィックにおける更なる成長を目指して、豪州健康食品最大手で最も歴史のある Blackmores を子会社化致しました。

本株式取得は当社の「ヘルスサイエンス事業」を強く補完するものであり、KV2027とも合致いたします。「健康」に関する社会課題の解決を通じてグローバルでの成長を目指す当社と、自然科学や自然療法の知識を活用して、アジア・パシフィックの人々の「健康」課題の解決を目指す Blackmores の考え方は共通しており、両社の目指す理念は一致しております。



2.4.2 Blackmores 概要

Blackmores は主に「Blackmores（サプリメント・粉ミルク）」「BioCeuticals（医療機関向けサプリメント）」「PAW by Blackmores（ペット向けサプリメント）」ブランドをアジア・パシフィックにて展開しております。

Blackmores は、「To give people a choice to make living well each day a natural way of life.（自然な暮らしで日常生活を豊かにできる選択肢を提供する）」をパーパスに、「Combine our knowledge of nature and science to deliver quality solutions to bring wellness to people and their pets everywhere, everyday.（自然と科学との融合により、人々とそのペットに日常生活に健康をもたらす高品質のソリューションを提供する）」をミッションに掲げ、ナチュラルヘルス・自然療法の研究・開発を通じて、一世紀近くアジア・パシフィックの人々の健康に貢献してまいりました。

1976年より東南アジアへの進出も開始し、現在マレーシア、タイ、インドネシア、ベトナムやシンガポールにおいて、高いプレゼンスと消費者からの信頼を獲得しております。2013年には中国市場にも進出し、外資系サプリメント／栄養補助食品企業としての強固な地位を確立しております。また、近年では、インドなどの新たな市場への展開にも積極的に取り組んでおります。

このような長い歴史と品質への高い意識が評価され、豪州において14年連続でビタミン・サプリメントの「Most trusted brand」（注1）を獲得しております。

（注1）Trusted Brands Award は、オーストラリア人が最も信頼するブランドを表彰するものです。

2.4.3 今次買収におけるシナジー

本株式取得により、ヘルスサイエンス事業の商品ラインアップやケイパビリティが充実し、展開地域と共に成長機会と事業規模が拡大いたします。そして、Blackmores の販売網を活かし、キリンのスペシャリティ素材等についてアジア・パシフィックの顧客へのアクセスを向上させることで、素材の価値向上を図ります。そして、Blackmores の消費者ニーズや各国規制に対する深い知見を活用し、BtoB 事業の課題解決提案力をさらに高めることで、BtoB と BtoC 事業の連携を深め、ヘルスサイエンス事業の継続的な成長の実現を目指してまいります。また、両社の技術活用による新たな商品開発を通じて、より多くの健康に関する社会課題を解決に貢献してまいります。

| | |
|---|--|
|  <p>成長機会の拡大</p> | <ul style="list-style-type: none"> ● Blackmores社の販売チャネルとケイパビリティの活用によりスペシャリティ素材の展開加速が可能 <p>例</p> <ul style="list-style-type: none"> ✔ プラズマ乳酸菌の免疫サプリへの導出 ✔ シチコリンのドリンクサプリへの導出 ✔ ヒトミルクオリゴ糖の消化器系サプリ・粉ミルクへの導出 etc   |
|  <p>成長機会の拡大</p> | <ul style="list-style-type: none"> ● 当社技術の活用により新たな商品開発が可能 ● FANCLとの商品共同開発が可能 <p>例</p> <ul style="list-style-type: none"> ✔ 新たな商品形態の開発・展開 ✔ 容器包装の更なる環境対応 etc |
|  <p>組織能力の向上</p> | <ul style="list-style-type: none"> ● ヘルスサイエンス事業の組織能力向上が可能 <p>例</p> <ul style="list-style-type: none"> ✔ 人材交流（両社の従業員にとって活躍できるフィールドが拡大） ✔ ナレッジシェアリング（R&Dやマーケティング） etc |

2.5 ソーシャルボンド発行の意義

当社はソーシャルボンドの実行を、上記の社会課題の解決への対応を図りつつ、当社の CSV の推進を通じて、社会的価値と経済的価値を創出し、社会と共に持続的な成長を続けていくための資金調達として位置付けており、ステークホルダーの皆様に対して、改めて当社の取り組みを発信する契機となるものと考えております。

3. ソーシャルボンド・フレームワーク

3.1 調達資金の使途

本フレームワークに基づいて調達された資金は、以下の適格プロジェクトに対する新規投資及びリファイナンスに充当される予定です。

| 事業カテゴリー | 適格プロジェクト | 関連するSDGs |
|--|------------------|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ■ 必要不可欠なサービスへのアクセス <ul style="list-style-type: none"> - 健康 - 健康管理 ■ 食料の安全保障と持続可能な食料システム <ul style="list-style-type: none"> - 食料必要要件を満たす、安全で栄養価の高い十分な食品への物理的、社会的、経済的なアクセス - 食生活改善・未病対策 | Blackmores の株式取得 |    |

キリンググループは、CSV パーパスにおける重点課題のひとつに「健康」を掲げ、「健康な人を増やし、疾病に至る人を減らし、治療に関わる人に貢献する」事に取り組んでおり、本フレームワークにおける適格プロジェクトを通じて、幅広い地域・年齢層のお客様の健康増進・免疫機能維持等にかかる栄養補助食品等へのアクセス向上や、より健康的な商品の研究開発、販売・流通につながり、健康課題の解決や下記の社会課題の解決に貢献するとともに例示した「対象となる人々」に対してポジティブな社会的な効果が期待されると考えています。

| 適格プロジェクト | 社会課題 | 対象となる人々 |
|------------------|--|------------------------------|
| Blackmores の株式取得 | 健康・長寿の達成 超高齢化社会への対応 「治療」から「予防」（未病対策） | 一般大衆 疾病等により特定の栄養素を必要とする人々 |

3.2. プロジェクトの評価と選定プロセス

3.2.1 プロジェクトの評価

当社の財務担当部門、CSV 担当部門が 3.1 にて定めた適格プロジェクトを選定し、適格プロジェクトを資金使途とするソーシャルボンドの起債は財務担当部門の執行役員が最終決定を行います。

3.2.2 充当可能額の評価

当社は下記のプロセスを通じて適格プロジェクトにおける充当可能額の検証を行っています。ソーシャル性の検証に際しては、SBP、SBGLs に基づき、「社会課題及びソーシャルプロジェクトの特定」「ソーシャルプロジェクトの対象となる人々」等の特定を行っております。なお、本フレームワークに基づくソーシャルボンドの調達額は充当可能額を踏まえて決定しています。なお、充当可能額については、第三者評価機関によって適切な検討プロセスの一部として評価を得ています。

- ① Blackmores の事業セグメント分類
- ② 事業セグメント毎の主要な取扱商品のソーシャル性の評価
- ③ 上記①、②を通じた充当可能額の算出

3.2.3 社会リスク・環境リスクを低減するためのプロセス

事業の実施にあたって、当社はプロジェクトの実行及び事業期間の全てにおいて環境関連法令及び当該地域との協定を順守するほか、社会倫理に適合した誠実な行動を取るために、キリングループコンプライアンスガイドラインに従います。また、適格プロジェクトに関連する ESG 関連の論争が生じていた場合、適切に対処し、開示する予定です。

また、適格プロジェクト固有のリスクについては、デューデリジェンスの際に各種リスク項目の抽出を行い、適切な対応・手続きを実施しています。

3.3. 調達資金の管理

本フレームワークに基づいて調達された資金について、全額が償還されるまで、当社の財務担当部門が内部管理システムを用いて調達資金の充当状況を管理します。

3.4. レポートニング

3.4.1 資金充当状況レポートニング

当社は、本フレームワークに基づいて調達された資金が適格プロジェクトに全額充当されるまで、調達資金の充当状況（充当額および未充当額）を年次でウェブサイト上に公表します。初回のレポートニングは、資金調達後の翌年度に公表します。なお、調達資金の全額充当後、大きな変更が生じる等の重要な事象が生じた場合は適時に開示します。

3.4.2 インパクト・レポーティング

当社は本フレームワークに基づいて調達された資金が償還されるまでの間、年次で当社ウェブサイトにてレポーティングします。初回のレポーティングは、資金調達後の翌年度に公表します。

現時点で想定するレポーティング指標については、下記の通りですが今後の Blackmores との事業展開に応じて、実務上可能な範囲でその取組内容についてレポーティングすることと致します。

- ・Blackmores が取り扱う製品へのアクセス向上（展開するエリアの増加数）

| 適格プロジェクト | アウトプット | アウトカム | インパクト |
|----------------------|----------------------|------------------------------------|---|
| Blackmores の 株式取得 | Blackmores の 子会社化 | Blackmores が 取り扱う製品への アクセス向上 | 「健康な人を増やし、疾 病に至る人を減らし、治 療に関わる人に貢献」す ることを目指し、全世界 の人々のより多くの健康 課題の解決に貢献 |

3.5 外部レビュー

3.5.1 アニュアル・レビュー

当社は、資金充当レポーティングの内容及びインパクト・レポーティングの内容及び本フレームワークに適合しているかを評価するためのレビューを、独立した外部機関である DNV ビジネス・アシュアランス・ジャパン株式会社から取得致します。このレビューは、ソーシャルボンドにより調達された資金が全額充当完了するまで行い、初回のアニュアル・レビューは、ソーシャルボンド調達の翌年度に公表する予定です。

4. 参考書類 Reference

1. ソーシャルボンド原則 2023 (ICMA)
2. ソーシャルボンドガイドライン 2021 年版 (金融庁)
3. 豪州の健康食品 (ナチュラル・ヘルス) 会社 Blackmores Limited 社の株式取得 (子会社化) に向けた契約の締結に関するお知らせ (リリース資料/説明会資料)
4. 統合レポート 2023 (会社 Web サイト)
5. BLACKMORES GROUP SUSTAINABILITY REPORT 2022

以 上